

令和 7 年度第 2 回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和 7 年 8 月 4 日（月） 14 時 30 分～15 時 40 分
開催場所	川越駅西口 U PLACE 3 階 会議室
出席委員	高橋会長、増田副会長、大西委員、加藤委員、氣仙委員、小川委員、大野操委員、大畠委員、檜村委員、山田委員、野沢委員、長谷部委員、岡村委員、峯岸委員、飛松委員、柳井委員
事務局	福祉部障害者福祉課 岡安課長、木村副課長、小沼副主幹、田中主査、細村主任、小野寺主任 こども未来部療育支援課 川上課長
欠席委員	大塚委員、大野一美委員、栗林委員
傍聴人	0 名
議題	障害福祉に関するアンケート調査について
会議資料	・ 次第 ・ 川越市障害者施策審議会委員名簿 ・ 資料 1 前回審議会意見の反映について ・ 調査票(川越市の障害福祉に関するアンケート)Ⅰ～Ⅳ
審議結果概要	障害福祉に関するアンケート調査については、今回委員から出された以下の主な意見を踏まえ、9 月 8 日から実施することとなった。 ・ 調査票Ⅰ問 12、「通院の付き添いをしてくれる人がいない」という選択肢を付け足してほしい。 ・ 調査票Ⅰ問 18、「付き添ってくれる人がいない」を選択肢に追加してほしい。 ・ 調査票Ⅰ問 20、「付き添ってくれる人が必要」を選択肢に追加してほしい。 ・ 調査票Ⅱ問 21、選択肢 4 は「入所施設」と「病院」とは分けたほうが良い。 ・ 調査票Ⅰ問 24、「以前は仕事していたが現在は仕事をしていない」を「仕事を探している」と言った方が分かりやすいかと思う。選択肢 2 と 3 の違いが分かりにくい。

	・調査票Ⅰ問３２、現在仕事をしていない人も、障害のある人の就労を促進するためには何が必要だと思うかを問うほうが良い。 ・調査票Ⅰ問３７、選択肢で「グループホームなどの拡充」の「など」には入所施設も含まれていると思うが、選択肢を分けて「入所施設の整備」を入れてほしい。 ・調査票Ⅰ問３９、「入所施設や重度者対応のグループホームの空きがない」という選択肢を追加してほしい。 ・調査票Ⅰ問５９、「満足している」という選択肢は不要ではないか。また、上位３つではなく、５つにしてほしい。 ・調査票Ⅰ問５９、「(１)満足している」と「(２)改善してほしい」の順番を入れ替えてほしい。 ・調査票Ⅳの問４と５は削除した方がよい。 ・用語について聞く設問で、「補助犬についてご存知ですか」と聞くと、法律を知っているか問うよりも具体的な浸透度が分かるのではないか。
--	--

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	【開会】
新任委員	【新任委員挨拶】
会長	【会長挨拶】
事務局	【会議の成立確認】 【資料確認】
会長	【会議公開の承認】※傍聴者なし
事務局	【議題 障害福祉に関するアンケート調査について】 資料 1、調査票に基づき説明
会長	議題について事務局より説明をいただいた。意見、質問等あるか。
委員	地域共生社会の浸透度をはかる設問で「補助犬についてご存知ですか」と聞くと、法律を知っているか問うよりも具体的な浸透度が分かるのではないか。今後の計画策定につながるので良いと思う。
事務局	より具体的な用語を入れたほうがわかりやすいため、ページ数の制限はあるが反映できるよう検討したい。
委員	* 調査票Ⅰの問 2 4 について、仕事をしていない人は問 3 2 に設問が飛ぶ。現在、仕事をしていない人も、障害のある人の就労を促進するためには何が必要だと思うかを問うほうが良いと思う。仕事をしていないのは様々な理由があるはずで、仕事をしていない人はまた違ったサービスが必要かもしれない。 * 調査票Ⅰの問 3 7 について、選択肢に入所施設を入れてほしい。生まれ育った川越の地で生活していくために入所施設を要望している多くの待機者がいる。 * 調査票Ⅱの問 2 1 について、選択肢 4 は入所施設を生活の場と考えた場合、病院と分けたほうが良いと思われる。
事務局	* 調査票Ⅰの問 3 0 について全ての方が答えられるよう変更する。 * 調査票Ⅰの問 3 7 については検討させていただく。 * 調査票Ⅱの問 2 1 については選択肢を入所施設と病院とを分けて作成する。
委員	* 調査票Ⅰの問 1 2 に「通院の付き添いをしてくれる人がいない」という選択肢を追加してほしい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	*調査票Ⅰの問１８も同じく「付き添ってくれる人がいない」を選択肢に追加してほしい。 *調査票Ⅰの問２０も「付き添ってくれる人が必要」を選択肢に追加してほしい。 *調査票Ⅰの問３７は選択肢の「グループホームなど…」とあるが、「など」は消して、新たに「入所施設の整備」を選択肢に入れた方が良い。 *調査票Ⅰの問３９に「入所施設や重度者対応のグループホームの空きがない」という選択肢を追加してほしい。 *調査票Ⅰの問５９について、分かりやすくまとまっているが「満足している」という選択肢は不要ではないか。このアンケートの目的は改善してほしいことを明らかにすることなので満足していることを敢えて掘り下げなくても良い。また、選択肢の上位３つ選ぶとあるが、３つでは足りない。少なくとも５つは必要だと思う。
事務局	(委員からの意見を改めて確認) 調査票Ⅰの問５９について、「満足している」という選択肢をなくすか否かについては当審議会の総意としての考えかを伺いたく、会長より委員の皆さまにお諮りいただけるか。
会長	この件について委員の皆さまに意見を伺う。ないほうが良いと思われる方は挙手をいただき、半数を超えれば採用とする。よろしいか。
委員	もし「満足している」という選択肢が必要というのであれば、どのようなことで活かされるか聞きたい。
会長	例えば、経済的援助に満足している方、そうでない方の割合が近い場合、課題分析に使えるデータとなる。また何が川越市の強み、特徴なのか資料があったほうが良いとも思う。 一方でボリュームがあるアンケートなので書き手の負担を減らすという観点では選択肢を減らしたほうが良い。データをどう取るか、バランスだと思う。
事務局	調査票Ⅰの問６０に「川越市の障害者施策について、満足していますか」という総括的な質問を用意している。こちらで「満足している、少し満足している」との回答があった場合、どういう施策が市

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	民の皆様に満足していただけているのか、しっかりと知っておきたい。よって、可能であれば問５９の「満足している」という選択肢は残したいと考えている。
会長	他、何か採決を取る前に確認したいことはあるか。
委員	問５９の選択肢をいくつ選ぶかについて、選択肢を５つ選ぶ場合、「満足している」を５つ選ぶのは大変かと思う。サービスの利用具合にもよると思われる。
会長	いくつ選択するかも難しい問題。特に何を希望するか絞るという意図で問うなら少ないほうが良いし、広く普遍的に問うなら増やしても良い。市の弱いところを改善し、また強みを伸ばすために、個人的には選択数を増やすことはないと思うが、皆さまの意見を反映したい。委員より、５つが良いという理由を教えてほしい。
委員	最後の方の設定で回答者が疲れ、回答がいい加減になってしまう。問６０で満足しているか聞いているので、あえて問５９で内容についてまで深く追う必要はないと思う。時間とお金をかけてアンケートを実施するのは、改善してほしい点をはっきりさせるためである。選択肢を５つ選ぶというのは、どの選択肢も大事だが、特に経済的援助で医療費の補助がないのが辛いという声が多い。それから入所施設の整備、グループホームの整備、災害時の支援体制、保健医療サービスの充実、この辺りは精神障害者家族会の人たちにとっては重要なところだと思う。
会長	他に委員からの提案について採決の前に意見はあるか。よろしいか。では、今から採決を取る。過半数の賛成で採決するのでよろしいか。また選択する数については別に聞いたほうがよろしいか。
委員	それは事務局にお任せする。
会長	それでは調査票Ⅰの問５９選択肢「満足している」を削除したほうが良いと思う方は挙手をお願いしたい。
委員	(挙手２名)

議事内容	
発言者	議題・発言内容
会長	削除しないでほしいという方が多数なので現状維持とする。
委員	その場合、記入しにくいので「(1)満足している」と「(2)改善してほしい」の順番を入れ替えてほしい。逆の方が「改善してほしい」が記入しやすい。
会長	レイアウトの見直しを含め、事務局に調整を依頼する。他、先ほど委員より質問の続きがあったかと思うがいかがか。
委員	調査票Ⅳの問4、接する機会を持ちたいかと積極的に聞かれると「そうではない」という意見が多くなるのではないか。ただ漠然と聞きたいというのであれば良いのかなとも思うが、何か引っかかっている。
会長	事務局、これについてはいかがか。
事務局	この設問については事務局内でも議論があった。接したいか否かは障害のあるなしに起因するものではなく答えづらい。理由を知りたいために設問を設計したが、委員の意見を伺いたい。
委員	障害のある人は別に特別な存在ではないと思うので、会ってみたいとか会いたくないという対象ではない。調査票Ⅳの問4と5は削除した方がよいと思う。
事務局	今のご意見を踏まえ、設問を削除の方向で調整したい。
会長	他に委員から何かあるか。
委員	問37と59、ある意味類似する。問37の選択肢で「グループホームなどの拡充」は入所施設も含まれていると思うが、やはり入所施設を分けてほしい。また問59になると「入所施設の整備」という選択肢がある。2つの設問の整合性をもっていただけると良いと思うが、これら設問をどう扱っていくのか知りたい。
事務局	この問37は、入所施設や病院からの地域移行という分野での設問になっているため、入所施設の整備を入れると、そもそもの意図

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	にそぐわない。一方、問59については、入所施設も必要とされているという文脈で整理をさせていただきたい。
会長	委員いかがか。
委員	川越市は複数の社会福祉法人が、隔離的に入所を考えるのではなく、どうやって地域の中で暮らしていくかという深く理念的な思想を持っている。もちろん入所施設からグループホーム等に移っていく地域移行は課題として考えているが、入所施設は暮らしの場として位置づけられていると思うので、事務局の説明で意図は分かるが個人的には問37に「入所施設の整備」を入れてほしい。
会長	引き続き、質問はあるか。
委員	過去の設問で幼稚園や保育所、学校等で「通っている場所でどうやって過ごしたいですか」という設問があったと思う。それはどうなったか。
事務局	もともと「通っている学校でどうやって過ごしたいか」という設問があり、選択肢に「障害のあるなしに関わらず一緒にクラスで過ごしたい」などがあった。市内全ての学校で特別支援学級を設置する方向で進めている、一方で、特別支援学級の設置はインクルーシブ教育になっていないのではないかと指摘もある。現状、仮に当課のアンケートで回答を得たとしても施策に反映できないため、設問を削除するに至った経緯がある。
委員	アンケート調査の前提として幼稚園、保育園、小学校等に通う人が対象に入っているということよろしいか。
事務局	調査表1については、年齢区分は0歳から上の年齢まで全て対象にしている。人口構成比に応じて対象者を抽出するが、18歳以下も含まれる。
委員	人数が聞きたい。例えば幼稚園、保育園、就学前の人が何%ぐらいの数になって、学生が何%ぐらいの数になるか。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	データを用意するので少しお待ちいただきたい。
会長	データを待つ間に他の委員より質問、意見はあるか。
委員	やはり国の施策としては地域移行という言葉がキーワードになっている。言い方は悪いが施設に隔離するのではなく、地域でみんなと一緒に過ごそうというのが、共生社会である。問37でどういった言葉を使ったら良いか。問が「施設が欲しい」という方向に行っては良くないと思う。問37の選択肢11「訪問系サービスの充実」とあるが、これを「自宅で過ごすための訪問系サービスの充実」と、「自宅で過ごす」というのをに入れていただけると意図がはっきりしてよいかと思う。
事務局	委員の意見について、ご指摘通り修正する。 続いて、先ほどの委員から質問について回答する。手帳種別ごとになるが、まず身体障害者手帳は全体で約1万人いるが、18歳未満の人数は約300人、構成比で言うと3%弱。次に療育手帳では、全体で約3000人、18歳未満が約900人、構成比で言うと30%。最後に精神手帳が全体で約4000人で、18歳未満が150人、構成比で言うと4%弱となっている。
委員	若干、この質問に答えられる人がいることが分かった。それでこの設問の中でライフステージに必要な傾向といったところを探るにはやはり難しいと感じた。今後の希望としてはやはり保育園や幼稚園での発達相談や療育に施策的に力を入れていただきたい。大人になって発達障害やADHD等が増えており、幼児期・乳幼児期の経験が集団・社会へ入っていく力になる。療育相談、あるいは発達相談に関する施策が、幼児・乳幼児教育に必要だと思う。大人になってから集団が苦手である等、いろいろ出てくるがもっともっと川越市がそのところ発信していただくとありがたい。設問は「通いやすいか」や「理解が進んでいるか」というところに力が入られてるかなと理解している。
会長	意見を踏まえ検討していただきたい。他に意見はあるか。
委員	調査票Ⅰの雇用・就労のところで、一体どういうことを聞きたく

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	てこの設問があるのか。うちの子供は重度障害者で入所施設利用者だが、日中は生活介護を利用し仕事して活動し、お給料もらっている。働くというのは給料をもらうよりも視野を広げたり、できることを増やしたりという意味がある。仕事というのはどうしてももらいたいということについての質問なんだろうか。私の場合はどの選択肢を選べば良いだろうかと疑問がある。
事務局	この質問は設問の意図を教えてほしいということで間違いないか。
委員	はい。
事務局	一つは実態把握になる。実際川越市の障害のある方の就労状況がどうなっているかを把握するもの。また、就労していない場合、希望が叶っていない人がどういう人で、どういう支援があればその希望が叶うかそのギャップを見ることも意図としてある。就労の状況の実態把握と希望を叶えるために、市としてどういうことができるか確認するための設問となっている。
委員	就労の中でも意味合いとしてうちの子の日中の過ごし方が含まれていて、その仕事希望に叶っていればよいということで理解した。
会長	事務局、私からも調査票Ⅰの問２４「以前は仕事していたが現在は仕事をしていない」を「仕事を探してる」と言った方が分かりやすいかと思う。選択肢２と３の違いが分かりにくいと思ったがいかがか。
事務局	一度、持ち帰って整理する。問３１との整合がとれるように、調整したい。
会長	他に何か意見、質問はあるか。発言してない方、よろしければご発言いただければと思う。委員いかがか。
委員	アンケートの内容自体は、皆さんで作っていくものなのでこれで良いと思うが、このデータをどう生かしていくか、あとは施策審議会と自立支援協議会が連動していくような動きに持っていける

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	と良い。作っただけの計画ではなく、それがどう今後生かされていくか、私達の実働のところにそれを生かしていけるかというところが大切かと思う。
委員	調査票Ⅰの問５９の選択肢に「経済的援助」とあるが、医療費の補助であるとか、現金の給付であるとか、何か具体的に書かずに、この一言でわかるだろうか。
事務局	今までのアンケート調査でも「経済的援助」という質問項目を設けており、今回も従前どおりとさせていただいた。
会長	委員の方、他に意見・質問はあるか。
委員	調査票Ⅰの問４４、サービスの説明で、日中活動系のところに、８番の短期入所、９番の宿泊型自立訓練というのが入っているが、ショートステイが日中活動系であったり、宿泊型自立訓練が訓練系ではなくて日中活動系にあるのはなぜか。
事務局	厚労省が定める類型に基づいて分類しており、ここでその理由を明確にお答えすることができない。申し訳ない。
会長	今回、アンケート発出前の最後の確認となるが、他にはないか。
委員	どうでもいいことかもしれないが、調査票のⅠⅡⅢⅣの横にⅠは空欄のままで良いが、Ⅱの横に「高」、Ⅲの横に「入」、Ⅳの横に「市」という漢字を付けることで分かりやすくなるのではないか。
事務局	委員のご意見は、調査票の分類が分かりやすくなるという意図かと思う。調査票の中段のところにＩＤパスワード記載のシールとあるが、こちらでＩＤ管理をしており、分類が分かるように付番をしている。
委員	そうであればよい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
会長	他に意見等あるか。ないようなので、本日の意見を踏まえ、事務局は適宜修正をお願いしたい。
会長	【その他】 その他、委員からの報告事項はあるか。
委員	特になし
会長	事務局から何かあるか。
事務局	・次回会議の日程について 次回の会議は令和7年11月開催予定。 会場含め、正式な案内は追って通知する。
会長	委員から質問等はあるか。
委員	特になし
事務局	【閉会】 以上で、令和7年度第2回障害者施策審議会を終了する。
	以上